

### \*\*\* 牧師室より \*\*\*

#### 「あの山をください」

「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。」(マタイ 11:28)というイエスの言葉を今年のために与えられた御言葉として歩んできました。イエスのもとで休む、何をしたからではない、何かの能力があるからではない、ありのままを受け入れられている喜びの中に歩むことを大切にしてきました。

その時に、先月の「e お知らせ」でも書かせていただいた聖書の言葉「見よ、わたしは新しい事をなす。やがてそれは起る、あなたがたはそれを知らないのか。わたしは荒野に道を設け、さばくに川を流れさせる。」(イザヤ書 43:19)、そして、「あなたの口を広くあけよ、わたしはそれを満たそう。」(詩篇 81:10)の言葉が与えられています。

イエスは「わたしのもとで休みなさい」と言われた後に、「わたしのくびきを負いなさい。」とされています。それは、神様が私たち一人一人に特別に造ったカスタムメイドの使命を担っていく、という意味です。イエスのもとで休みをいただき、力を頂いて、神様が与えられたぴったりの使命、それを担っていくようにと招いておられることを感じています。

そして、最近心に与えられた聖書の言葉は「この山地を、どうか今、わたしにください。」(ヨシュア記 14:12)という言葉です。これはカレブという名前の 85 歳の老兵が、もう平和な平地が広がっており、彼はそのどこにでも住むことができるのに、「神様が共にいてくださるから大丈夫です」と、あえて「この山地をください」と願い出た時の言葉です。そこはまだ戦いがあり、困難の待ち受けているところです。そこに勇気をもって進んでいったのです。

イエスのもとで休むことはそこでは終わりません。新しい使命、カスタムメイドの使命を頂いて立ち上がる道につながっています。そして、その道は決して安穏な道ではありません。しかし、そこにも神様が共にいてくださって、ご自身に頼る者達にどんな素晴らしいことをしてくださるのか、教えてくださるのです。

勇気をもって前進していきましょう。

### \*\*\* 証し \*\*\*

#### 苦しみを祝福に変えてくださる神様

##### 内山のぞみ

2010 年、私の結婚生活は夫の実家で義母と一緒にスタートしました。

結婚という未知の生活、慣れない土地、義母との同居、様々な不安がありましたが、そこに至る経緯に不思議な出

来事が重なっていたことに神様の導きを感じ、祈り、決断してのスタートでした。

しかし、数カ月後、義母と大きな衝突が起きました。それからは義母の意に反することが何よりも恐ろしく、常に義母が何をしたら怒るかばかりを考えるようになりました。今振り返ると、夫とも家族になりきれておらず、お互いの信頼関係もなかった中で、私にとって義母の存在は絶対に逆らえない重圧でした。小学校 1 年生の時に父を亡くした夫にとって、女手一つで一生懸命育ててくれた義母がどれ程影響力があるかを考えると、私たちの結婚を壊せる恐ろしい存在に思えたからです。義母から言われた言葉が頭から離れず、夜も眠れず、食事も喉を通らず、嘔吐する中で、「自分を認めてもらうためには『一点の非もない人間』でなければならない」「ふさわしい嫁にならないければ」と思い込み、夫に自分の弱さを相談することもできず、家にはなるべく遅く帰るために残業をしたり、駅や近くの公園で夫の帰りを待たたりする日もありました。徐々に心の中で義母に対する不信感が芽生え、義母の粗探しをすることで義母が非難したものを正当化するようになりました。すでに心に愛や平安はなく、恐れと憎しみで渴ききっていました。義母から解放されることだけが私の希望であり、そのためには離婚すら考えるようになりました。

結婚から 1 年、夫と 2 人で夫の実家を出て新居に引っ越ししました。義母から絶縁された時、私は完全に教会に行けなないと思えました。夫から義母を奪ってしまった私が、自分だけ自分の実家の家族が集まる教会に行くなんてできない、義母と良い関係を築けなかった私がクリスチャンとして夫に証なんてできないという思い、そして、私がいらない間に義母が夫を離婚するようにと説得したら...夫が実家に帰ってしまったら...という恐怖心から私は教会と自分の実家の家族から離れ、仕事以外のほとんど全ての時間を夫と過ごすようになりました。

しかし、離れれば解放されると思っていたのに、優しく思いやりのある夫の姿に義母に対する感謝が起こり、夫のしぐさや口癖に義母の影響を感じて嫌悪感が起こり、義母の言葉を思い出して許せない気持ちが再燃し、最愛の息子に会えず寂しく暮らしているであろう義母を想像して涙し、どんなに蓋をしたりコントロールしようとしても義母を思わない日は一日もなく、むしろ自分の汚い泥沼の感情の中でもがき苦しみ続けました。

そんな中で、私は生まれて初めて心の底から神様を求めようになりました。考えてみたら、それまでの私は受動態の信仰でした。クリスチャンの両親のもとに生まれ、物心つく前から教会に通い、小学校 6 年生で受洗し、中高はミッションスクールに通い、必要な御言葉、メッセージは常に求める前から与えられてきました。祈りに応えてくださる神様が大好きで、イエス様も聖霊様も信じていました。しかし、どうにもならない自分の醜い感情、弱さ、愛のなさを嫌というほど思い知らされ、それでもなお自分を正当化しないと生きていられないような苦しみの中で、言葉にならない言葉で神様を求めました。初めて自分から「生きる指針」を探し、神様と

のつながり、神様の御心、聖書をもっと知りたいと願うようになり、ネット配信されている中川健一先生の「ハーベストタイム」を聞くようになりました。毎日の通勤や帰宅後、ひたすら創世記、出エジプト記、ローマ人への手紙、福音書の講解メッセージ(毎回一章ずつ順番に解説するもの)を聞き続けました。それまで知ってるつもりになっていた聖書への理解が全く変わっていきました。

別居から2年後、義母との交流が再開し、その半年後に夫の転勤でNYに引っ越し、NJ 日本語キリスト教会に導かれました。礼拝堂に入った瞬間、初めての教会なのに、何とも言えない懐かしさ、喜びが溢れました。ほぼ4年ぶりの牧師先生の生の説教、賛美、クリスチャンの方々との交わり、全てが嬉しくて感謝と感動で心が震え、「帰ってきた…」と感じました。しかもずっと願っていた最愛の夫と一緒に。それから1年、素晴らしい主にある家族との交わり、先生を通して必要なメッセージを語ってくださる神様のもと、感謝に溢れる毎日を過ごさせて頂いています。

先月、義母をNYに迎えました。約2週間の滞在でしたが、義母に遊びに来てもらおうと提案したものの、日が迫るにつれ過去の記憶がよみがえり、不安になっていた私に、「好きは感情、愛は行動」「好きという感情は持てなくても、愛するという行動はできる」とメッセージを与えてくださり、「愛をもってお義母さんと接することができますように」と祈りました。義母と一緒に過ごす中で、ふと義母の背中の小ささに気づかされました。驚きました。私にとって義母は絶対に動かすことができない大きな大きな存在だったからです。義母の手の白さに「ああ、この手で一生懸命夫を育ててくれたんだ」と胸が熱くなり、過去のことも「義母も必死だったんだ」と分かった瞬間、慣れない外国で驚いたり喜んだりしている義母の笑顔が愛しくなり、「夫の」ではなく「私の」母と思うことができたのです。「何事もなく無事に」と願っていた母の帰国日は、母への愛情と寂しさと神様への感謝で涙が溢れました。神様は私の人生最大の奇跡、私の心に義母に対する愛情を与えてくださったのです。

夫の実家を出たあの日、こんな日が来るなんて誰が想像できたでしょうか。あの頃、夜中に起きては聖書を開き、「神様なぜですか」と泣きながら問い続けました。「何かの報いでしょうか」「神様は本当に今も私の側にいてくださるのでしょうか」と。

今回、この証を書きながら、あの頃の苦しみが今の私への祝福だったと分かりました。

義母、実家族との遮断を通して、私自身も精神的に「父母を離れ」、夫にどんなことも相談し、強い絆と信頼関係をもった夫婦になれました。夫を失いたくない一心でしたが、夫を愛し、夫に仕えることを学びました。何より、義母とのことで自分の中の悪、どうにもならない醜さ、弱さ、渴きを知りました。「罪を犯すから罪人」ではなく「罪人だから罪を犯す」とメッセージで聞いた時、まさに自分の事だと胸に衝撃が走りました。イエス様がゲッセマネで血の汗を流されたほど恐れた“父なる神との断絶”は、本当は私が永遠に味わうはずの

恐怖だったのだと気が付き、心から悔い改め、イエス様の十字架に感謝し涙が溢れました。

「同居さえしなければ」「私がおもって違ってた」「結婚しなければ」...「たれば」で頭がいっぱいだった長い年月の一つ一つ、全て何も欠けては成り立たない神様のご計画でした。義母とのことがあったから、自分の罪を知りました。神様を求め聖書を学びました。教会に行けなかったから、教会に集えることの喜びを知りました。結婚したから、夫との愛を通して神様の愛が分かるようになりました。本当の平安は、復讐や憎しみからは得られない、また、自分の努力でも得られない、神様からの愛だけが苦しい心に平安を与えるのだと心から信じることができました。

『神のなさることは、すべて時にかなって美しい。神はまた、人の心に永遠を与えられた。しかし人は、神が行われるみわざを、初めから終わりまで見きわめることができない。』(伝道者の書3章11節)

神様が私にどのような未来を準備されているか私はまだ知りません。より大きな困難があるかもしれません。より長い時間苦しみの中を通るかもしれません。けれど、どんな困難な時も、満たされている時も、どんな時も神様に喜ばれる生き方を選ぶ知恵と勇気が与えられますよう、神様を信頼して希望をもって進んでいけますよう、祈りつつ生きていきたいです。

### \*\*\* 教会図書紹介 \*\*\*

「聖書を読んだサムライたち～もう一つの幕末維新史～」  
守部喜雅著(図書番号698)

物語はキリスト教禁制時代の1857年にオランダ人宣教師フルベッキが長崎に到着することから始まります。プロテスタント宣教師の彼は、長崎の英語教習所において、悩みながらも英語と聖書を武士たちに教えたと言われています。「謎のフルベッキ写真」に並んで写っている実際の幕末の武士たちの表情を見ると、テレビドラマや小説で脚色された武士像ではない、生身の人間である彼らの状況が垣間見えます。20代そこそこの若者たちが、日本の未来を背負っている自負と明日をも知れぬわが身の狭間で、聖書の教えに心を打たれたのは当然だったのかもしれませんが。この写真には、若き日の坂本竜馬とも思われる男性も写っていますが、実際に誰なのかは判明していません。フルベッキの英語教習所での教えがもとで、多くの人に聖書の教えが伝わっていきました。本書では、幕末の歴史のもう一つの一面として、坂本竜馬を斬った男と言われる今井信郎、西郷隆盛、大隈重信、津田梅子、山本八重、新島襄など、この時代を生きた人たちがどのように聖書の教えに生き方を変えられていったのかが、日本におけるキリスト教史と共に丁寧に描かれています。(M.S.)

### \*\*\* お知らせ \*\*\*

- ❖ 錦織牧師は、6月28日(火)より7月5日(火)まで休暇を取ります。その間、ホノルル・マキキ聖城教会でもたれるJCFN(Japanese Christian Fellowship Network)の25周年カンファレンス(6/30-7/2、<http://hc2016.jcfn.org>)及び、理事会(7/3-5)に出席します。その中で、7月2日の夜の集会でメッセージを取り次ぎます。また7月3日はホノルルキリスト教会(<http://www.hccjapan.org>)で礼拝のメッセージを取り次ぎます。それに続いて、7月6日(水)より8日(金)までカリフォルニア州 Santa Barbara にて、フリーメソジスト教団西海岸日本語部の修養会(<http://www.pjcschuyokai.org>)でのご奉仕の予定で、不在となります。ホノルル、サンタ・バーバラのお近くの方は是非おでかけください。またお知り合いにご紹介ください。
- ❖ 錦織牧師の休暇中の7月3日の礼拝は、プリンストン教会の栗栖牧師が説教を取り次いでくださいます。
- ❖ また、7月31日の礼拝には、日本で Send International という宣教団体の Director をされているポール鈴木宣教師がご家族と一緒に当教会を訪問されます。礼拝の説教と、礼拝後に宣教報告をしてください。
- ❖ 7月のマンハッタンオアシスはお休みとなります。
- ❖ 7月第1週、また8月のクロッキー教室はお休みになります。
- ❖ 7-8月のRidgewood 聖書を読む会、JOY JOY キッズクラブ、JOY JOY シンガーズの練習はお休みになります。
- ❖ 今年の JOY JOY Camp は、まだ少し定員に余裕がありますので、ご希望の方は錦織牧師にご連絡ください。  
[www.jccofnj.org/index\\_items/2016/JoyJoyCamp\\_2016.pdf](http://www.jccofnj.org/index_items/2016/JoyJoyCamp_2016.pdf)
- ❖ 今年はアメリカ東海岸の日本語教会が一同に集まる、東海岸日本語教会合同ファミリーキャンプの年です。今回は9月3日(土)~5日(月)に大阪・北浜インターナショナルチャーチ牧師であり、ミッション宣教の声・主幹の黒田禎一郎先生をお招きして持たれます。黒田先生は、聖書のみならず、時事問題、特にヨーロッパ・中東情勢にも詳しく、今回は「見えない中東・欧州情勢の背景を読む～激動する世界と聖書」というテーマでお話をして下さいます。第一次締め切りは過ぎましたが、まだ参加の申し込みはできますので、教会にお問い合わせください。詳しくは下のリンクから案内をご覧ください。  
[http://jgclmi.com/fc2016\\_flier\\_April.pdf](http://jgclmi.com/fc2016_flier_April.pdf)
- ❖ 礼拝のメッセージは英語に同時通訳されております。
- ❖ 日曜日礼拝前の12時45分から、子どもたちのための The BRAVE、中高生のための B.I.G.、英語での成人科バイブルスタディーに加えて、「祈り会」を持っています。礼拝のために、また互いのために祈る集まりです。また、礼拝堂入り口のロビーでは牧師が新しい方々をお迎えしたり、質問のある方や個人的にお話をしたい方々とお話

をさせて頂く、自由に立ち寄れるテーブルを持っています。ぜひ、おでかけください。

- ❖ JCCNJ では郵送版に加えて、内容は同じですが、EメールでのPDF版の月報も発行しています。郵送からE月報への切り替えをご希望される方は、[hisho@jccofnj.org](mailto:hisho@jccofnj.org)までご連絡ください。なお、E月報にご登録頂きました方には、隔月発行の月報に加えて、狭間の月に、Eお知らせをお届けします。
- ❖ 当教会では、みずほ銀行麹町支店(店番号021)に日本円の口座があります。(口座番号は、ニュージャージー日本語キリスト教会一般献金:1085657、ニュージャージー日本語キリスト教会 会堂建築献金: 1085665 です。

### \*\*\* 報告 \*\*\*

- ❖ 4月に集められた熊本地震被災地支援献金は合計で\$1,819となり、国際飢餓対策機構を通して被災地支援に使っていただくよう、全額を送金致しました。
- ❖ 6月12日の野外礼拝は、お天気にも恵まれ、約80名の方々とともに Van Saun Park で礼拝を守り、バーベキューやソフトボール、すいか割りなどを楽しみました。
- ❖ JCCNJ 教会会堂取得のための積立基金は2016年5月末時点で\$559,583.98、日本円 ¥90,761 です。各地からご献金下さっている皆様に心から感謝申し上げます。





Japanese Christian Church of New Jersey  
 ニュージャージー日本語キリスト教会

120 East Pleasant Avenue  
 Maywood, NJ 07607  
 USA

教会: 201-712-9833  
 牧師: 201-251-7977  
 HP: [jccofnj.org](http://jccofnj.org)  
 牧師メール: [pastorjccofnj@gmail.com](mailto:pastorjccofnj@gmail.com)

2016年7・8月号 月報

7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
						牧師休暇 (6月28日から)
3	4	5	6	7	8	9
11:45 聖歌隊練習お休み						
12:45 英語バイブル・クラス / The BRAVE 祈り会						
13:30 主日礼拝 (葉栖師)						
10	11	12	13	14	15	16
11:45 聖歌隊練習			牧師面談日 (NY)			
12:45 英語バイブル・クラス / The BRAVE 祈り会						
13:30 聖餐礼拝 (錦織師) 礼拝後 役員会					19:00 Friday Night オアシス (牧師館)	
17	18	19	20	21	22	23
11:45 祈り会			10:30 クローキ-教室 (三村宅)			
12:45 英語バイブル・クラス / The BRAVE 祈り会			牧師面談日			
13:30 主日礼拝 (錦織師)						
24	25	26	27	28	29	30
11:45 聖歌隊練習			牧師面談日 (NY)			
12:45 英語バイブル・クラス / The BRAVE 祈り会						
13:30 主日礼拝 (錦織師)						

8月						
日	月	火	水	木	金	土
7/31	1	2	3	4	5	6
11:45 聖歌隊練習						
12:45 英語バイブル・クラス / The 祈り会			牧師面談日		19:15 マンハッタン オアシス (244 Studios 244 W. 54 10th floor.)	
13:30 主日礼拝 (ホール鈴木宣教師) 礼拝後 宣教報告会						
7	8	9	10	11	12	13
11:45 聖歌隊練習						
12:45 英語バイブル・クラス / The 祈り会						
13:30 聖餐礼拝 (錦織師)						
14	15	16	17	18	19	20
11:45 聖歌隊練習						
12:45 英語バイブル・クラス / The 祈り会						
13:30 聖餐礼拝 (錦織師)			牧師面談日		19:00 Friday Night オアシス (牧師館)	
21	22	23	24	25	26	27
11:45 祈り会			牧師面談日 (NY)			
12:45 英語バイブル・クラス / The 祈り会						
13:30 主日礼拝 (錦織師) 礼拝後 役員会						
28	29	30	31			
11:45 聖歌隊練習						
12:45 英語バイブル・クラス / The 祈り会			牧師面談日			
13:30 主日礼拝 (錦織師)						